

# ベタニヤホームだより

社会福祉法人 ベタニヤホーム  
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1  
 電話 03 (3631) 0 4 4 4  
 FAX 03 (6659) 6 6 7 2  
 発行責任者 網 春子



2024年冬号 第147・148合併号

## 令和5年度クリスマス記念礼拝

### 「見えないものを見る信仰」

(マタイ福音書 2章1〜12節)

日本福音ルーテル教会

牧師 松田 繁雄

(社会福祉法人ベタニヤホーム理事)



主イエスがお生まれになった、その時、《占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。》きょうの福音書は、このように始まります。皆さまよくご存知の、三人の博士たちの物語です。カスパール、メルキオール、バルタザルという名前まで4世紀の文献には出てきますから、この三人という伝承はかなり古いものなのでしょう。

しかし、マタイ福音書には、ただ占星術

の学者たちと書かれているだけで、特に人数に拘っていません。また、細部にこだわらマタイとしては珍しく、彼らの出身地も東の方というだけで特定されていません。実は、マタイはこの場面でヘロデ王の姿を浮かび上がらせるために、東方から来た学者たちを登場人物に選んだという説があります。私もそうではないかなと思っっています。と言つのも、メシアの星を探し出し、(多分、うお座の方向にその星が見えたので)ユダの地に生まれたと見出すことのできた学者たちにとって、ミカ書5章の予言の言葉からベツレヘムという地名を割り出すことなど簡単なことだったと思えるからです。実際王に召集された祭司長や律法学者たちは、苦もなくそれを引用しています。

福音書記者マタイはここで、《これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた》という形でヘロデという王様を物語に登場させようとしているのです。実はこの大王ヘロデが出てくる福音書はマタイだけです。ヘロデという名前だけを見れば、ルカ受難物語にも出てくるのですが、こちらは息子ガリラヤ領主ヘロデ・アンティパスで、この大王ヘロデとは違う人物です。聖書ではどちらもヘロデですから、最初に読んだ時には、同じ王様がイエス様の最初と最後に立ち会ったのか、と妙に感心した事を覚えています。他にも混乱している所があって、「会ってみたい」と語るマルコ福音書のヘロデを、クリスマスへのヘロデだと思っ

方でした。この辺りは、多分に聖劇の影響を受けているので、劇の中では、ヘロデ王は大抵、「見つけたら私にも教えてくれ。ぜひ会ってみたいから」などと語ります。先ほど読みましたように、マタイのヘロデ王は「行って拝もう」とまで語りながら、その実「不安を抱く」のです。

ヘロデという王は、猜疑心の強い王で、悪い王様というイメージが定着しています。そのヘロデはユダヤ人を自称していますが父親は歴としたイドマヤ人、母親がユダヤ人ですが、その親の代になるとアラビヤ人改宗者だったと言われています。このヘロデが、ハスモン王朝末期の混乱に乗じユダヤ王に任命されたのですから、多少の不法行為は行ったことでしょう。しかし、王となったヘロデは、ひたすらユダヤ人のために尽くそうとします。それまでと全く疎んじられがちであった立法府サンヘドリンの意見を尊重し、自らも律法を厳守します。当時普通に行われていた肖像付きの貨幣を造らず持ち込ませず、あくまで偶像として退けたり、その政策は生粋のユダヤ人であったハスモンの王様たちよりもずっと律法に忠実なものだったのです。それでも、カイサリアという港町を開き、ローマに媚を売った等とも評されるのですが、これにして、その当時中東一体に発生しかけていた大飢饉を未然に防ぎ、また民を救済するための資金集めとして対外貿易を再開するためのものでした。カイサリアという名前にしても、一刻も早い認可をローマ当局が

ら得るための方便でした。実際紀元前25年に大飢饉が起こった時に、それまでに蓄えられたこの備蓄が吐き出され、それによって救われた民も多かったのです。

何と言っても、大王ヘロデの政策で庄巻なのは、紀元前20年の減税政策で、これはあのダビデ王以来の快挙でもあったのです。また、ヘロデは当時粗末だった神殿を立派なものにしようとするのですが、その際に慎重に幾度も神の意志を確かめ、更に必要と思われるあらゆる儀式を執り行つてから着工しています。ダビデの裔から理想の王であるメシアが生まれる、これは当時のユダヤ人の常識でした。このような純血主義のユダヤ人の目から見れば、どこまでも汚れたイドマヤ人の息子に過ぎなかったヘロデは、しかし、その政策や行動を通してダビデを模範として自らダビデの継承者と任じていたのです。

さて、このヘロデが主イエスの誕生の事を聞いて不安に思った、その心理はどういうものでしょう。自分よりも相応しい本物のメシアがダビデの裔から現れたかもしれない。おそらく直感がそう知らせたのでしょう。自分がそうなるうとして努力してきた、しかしいくら善政を施してもユダヤ純血主義のもと、どうせイドマヤ人が、としか評価されなかった、そういう苦い経験を通じてまだ見ぬメシアという存在に猛烈な不安感を掻き立てられていたのかもしれない。これに続く「幼児虐殺」のくだりは、おそらくマトイの創作と思われませんが、それにしても、晩年に近く、ハスモン王家の血を引く自分の後継者たちに神経を逆立て暗殺したりもし、「ヘロデの子供になるくらいなら、ヘロデの豚になった方が良い」と言われるほど猜疑心を示したヘロデ王ですから、まだ見ぬ理想のメシア王の存在にどれほどの不安を感じたか想像できるので、この辺りを描くマトイの筆は決して作り事ばかりではなと言えぬのです。

このヘロデの不安を際立たせる役割を与えられたのが東方からの学者たちです。彼らも、未だ見る事のないメシアを信じて遙かな旅をして来ました。西の空ユダヤを表すうお座に、火星、木星、土星の衝が重なって見えたとその事だけが彼らに見えたことです。その意味では、そのメシアに期待を抱くということ自体、ヘロデのように不安を抱くこと同様、極めて不思議な心理だったと思うのです。黄金・没薬・乳香、どれもその当時基調で高価なものだったと言われています。それらをわざわざ用意してメシアを探しに旅立つ東方の学者たちの姿に、神からの言葉を受けてまだ見ぬ約束の土地に向け旅立つアブラハムの姿がダブリます。アブラハムの子ダビデの子、イエス・キリストの系図、とその福音を書き始めたマトイは、この辺

りの事も計算に入れていたでしょう。ヘロデが抱いた見えないメシアに対する不安は、そのまま裏返されて、東方の学者たちの抱いた、見えない者に対する期待と信仰に変わります。そして、その信仰



永年勤続表彰受賞者(一部代理)

はアブラハムがまだ見ぬ約束の地を信じた信仰へと通じて行くのです。

《信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです》。これはヘブライ人への手紙11章の冒頭にある言葉です。これに続く8節には、《信仰によって、アブラハムは、自分が財産として受け継ぐことになる土地に行くように召し出されると、これに服従し、「行先も知らずに出発したのです」と描かれています。このアブラハムの信仰について、パウロはローマの信徒への手紙の中で、《アブラハムは神を信じた。それが彼の義と認められた》と表現しています。2023年、やっと「コロナ禍を乗り越え新しい歩みを始めたばかり、まだ見えてこない未来に対して、あるいは不安を抱いているかもしれない。私たちの《望んでいる事柄》とは何でしょう。見えない事実の中に見分ける事の出来るもの、それとも、アブラハムのように、たとえ見えなくても分かってなくても、神の言葉を信じて歩み出す勇氣、それが事柄なのでしょうか。

ところで、ヘブライ人の手紙11章は、このような言葉で結ばれています。《この人たちはすべて、その信仰のゆえに神に認められながらも、約束されたものを手に入れませんでしたが、神は、わたしたちのために、更にまさったものを計画して下さったので、わたしたちを除いては、彼らは完全な状態に達しなかったのです》。私たちのために神が計画して下さった《更にまさったもの》それは、私たちの罪をも覆い隠すほどのキリストによる救い、すなわち、キリストの十字架の血による贖いの業を意味しています。そのキリスト・イエスの誕生を覚えるこの日、もう一度謙虚に、私たちに与えられたこの福音の重みを噛み締めてみたいと思います。そして、そこから新しい出発をして行きたいと願っています。

# 創立100周年記念会を終えて

昨秋、9月16日(土)午前には日本福音ルーテル聖パウロ教会にて記念礼拝を、午後からは墨田区立すみだりパークサイドホールにて記念会を無事に執り行うことができました。ご来席いただきました多くの皆様、ご支援、ご協力を賜ったたくさんの皆様に衷心より感謝を申し上げます。

2024年を迎え、私たちは101年目に踏み出しました。今後一層多様化、深刻化する地域の福祉課題に常に目を向け、共生と包摂の社会づくりに寄与できるよう、これからも研鑽を重ね信頼ある社会福祉法人をめざしてまいります。創立以来のキリスト教精神と社会福祉の理念に基づき運営に一層努め、子どもたちを真ん中に誰もが利用しやすい、居心地の良いベタニヤホームとしてまいりたいと思っております。神さまのお助けを祈りながらみんなで努めてまいります。

理事長 綱 春子



創立100周年記念にご厚志等をお寄せいただいた皆様へ  
心より感謝申し上げます

(順不同・敬称略)  
竹内 亮、松本義宣、鹿島田和宏、渋井みさ子、学校法人草苑学園、清野会計事務所、学校法人明福寺ルンビニー学園、川島克之、増川 明、横井新一、大串紀代子、熊谷真弓、綱 春子、社会福祉法人光照園江戸川光照苑、伊達みつ子、増地良枝、猪野秀子、社会福祉法人東京老人ホーム、上田晴世、木ノ下保育園、泉亮、日本キリスト教児童福祉連盟、一般財団法人本所賀川記念館、長谷川卓也、伊藤 操、社会福祉法人おあしす福祉会、竹野良子、墨田区立錦糸小学校、清重尚弘、社会福祉法人宝樹会向島ひまわり保育園、社会福祉法人墨田区社会福祉協議会、墨田区立堅川中学校PTA、社会福祉法人愛理会ナースリー保育園・クローバー保育園、社会福祉法人希望福祉会杉の子学園保育所、入江流美子、宗教法人真福寺みつえ保育園、

特定非営利活動法人子育てひろばあかのおうち、墨田区立堅川中学校、宗教法人妙覚寺二之江保育園、社会福祉法人基督教児童福祉会バット博士記念ホーム、山中はる江、日本福音ルーテル聖パウロ教会、峯田信雄、鷺見達也、山口佐和子、太田和子、森岡愛子、社会福祉法人千葉ベタニヤホーム、社会福祉法人千葉ベタニヤホーム旭ヶ丘母子ホーム、青い鳥ホーム・国府台保育園、墨田区立菊川小学校PTA、六中自治会、社会福祉法人興望館、後藤康浩、成田教子、社会福祉法人緑榮会墨田みどり保育園、谷 明彦、和田真弓、市川一宏、江東橋五丁目町会、江五クラブ、墨田区立菊川小学校、徳善義昌、亀齡会、墨田区私立保育園協会、津田恵子、墨田区立中和小学校、影山祥仁、社会福祉法人賛育会、社会福祉法人るつるホーム、日本福音ルーテル教会女性会連盟25期役員一同、社会福祉法人あそか会、聖徳大学幼児教育専門学校、有限会社ロード・プロモーション、杉本興業株式会社、栗本建設工業株式会社東京支店、株式会社こどもとも、株式会社イー・エム・ジイ / 小林圭悟(令和4年度)



## 保健室だより ~富士見保育園~

とある場面で…乳児のお子さんの熱が長く続き、その原因がわからず不安そうな保護者の方に「お子さんの体調がなかなか良くならないと不安になりますよね。可能性として熱が下がった後に発疹がでた場合は、

突発性発疹かもしれないですね。」とお話しすると保護者の方が「そう言われてみたら、まだ罹ってないのでそうかもしれないです。様子を見てみます。」と少し不安そうな表情が和らいだのを感じました。今後も体調などの不安解決のお手伝いのできたらなと思えた瞬間でした。

### 母子生活支援施設ベタニヤホーム

#### ●地域と母子生活支援施設ベタニヤホームとの交流●

母子生活支援施設ベタニヤホームでは、年末に行われる江東橋五丁目町会の歳末警戒に、毎年参加しています。昨年も2日間に渡って施設長をはじめ職員が延べ8名参加し、地域の方たちと一緒に近隣地域を巡回パトロールしました。以前は、町会で行われる夏祭りにも参加してお手伝いをしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、この数年は夏祭りが中止となり、地域の方と交流する機会が減ってしまい、通りすがりにお会いした時に挨拶を交わすことくらいしかありませんでした。地域の方が温かく見守ってくださり受け入れてくださっているからこそ、ベタニヤホームの利用者が安心して暮らすことができていることに感謝し、これからも地域に暮らす方との交わりを大切にしていきたいと思えます。



### 菊川保育園

#### ●大盛況の卒園児クリスマス会●

巣立つときにいただいた聖書を片手に、元気な小学生たちが土曜日の保育園に集まってきました。卒園児クリスマス会は実に4年ぶりの開催となり、今年は44名もの卒園児と子どもたちに会いたいという14名の保育士の参加となりました。

第一部は隣接された聖パウロ教会にてクリスマス礼拝を守り、イエス様のご降誕をお祝いします。「うまやのイエスは」のピアノに合わせ明るい歌声が響き渡る光景に、毎日歌っていた讃美歌を覚えていてくれたのだな、とても嬉しく感じました。

第二部は菊川保育園に場所を移し、ステンドグラス製作です。毎日通っていた園舎や保育室に足を踏み入れるや否や「わぁ！ここで給食食べていたよね。」「あれ？テーブルや椅子はこんなに小さかったかな。」と驚いたり懐かしみながら、思い思いに素敵なグラスを作りました。私たち保育者も、大きく成長した子どもたちに会うことができても嬉しい一日となりました。

今年はお招き会、合同避難訓練など様々な行事で地域の方とも直接お会いできる一年となりました。地域と共に生きる日常を取り戻せたことに喜びを感じています。



「久しぶりに会えた職員と」



「大勢の卒園児と礼拝を守りました」

### 富士見保育園

#### ●自然をつかったクリスマス製作●

11月に新園舎にお引越しをし、新しい保育園での生活が始まりました。

たんぽぽ組では、12月に秋の自然を使ったクリスマス製作をするために、散歩バッグを作って公園や神社に出掛けました。好きなようにシールを貼って、自分だけのバッグを作ると松ぼっくりやどんぐりなど夢中になって拾い集める子どもたち。どんぐりを袋いっぱい集める子、いろいろな色の葉っぱを見つけ集めている子など様々な姿が見られ、一人ひとりバッグの中にお気に入りを入れて大切に持ち帰りました。

そして第一アドベントの週から、拾ってきた秋の自然を使ってクリスマスリースを作りました。どこに何をつけようかじっくり考え、ワクワクしながら自由に楽しんで作っている姿が見られました。完成したリースは新園舎の玄関に飾ると、保護者の方に誇らしげに見せている子どもたちです。

これからもクリスマスの製作などを通して子どもたちとクリスマスを楽しむに待ちたいと思います。



「どんぐり見つけたよ」



「玄関に飾ったリース」

### こひつじ保育園

#### ●地域活動、おやつ体験●

保育園のおやつを食べよう、と開催すると、たくさん地域の親子さんが来ました。この日のおやつは【チーズトースト】【フルーツサンド】。「おいしい!」「私の分も子どもが食べてしまいました。」と喜んでくださり、これはなんだろう?とどうやって作るんですか?と聞かれ、家にある材料で手軽にできることを知ると、「作ってみます」と関心を寄せてくださいました。食べることは喜びにつながり、私たちと地域の方々をもつなぐ大切なものと改めて感じました。

今年度はあおぞら保育、おやつ体験、クリスマス会などを開催しましたが、今後も保護者の方に色々な子育てに役立つ情報を伝えていきたいと思っています。



ご協力ありがとうございました

令和5年7月～令和5年12月まで(敬称略)

ご寄附

〈母子生活支援施設〉慈愛寮(ベビーキャリア)、救世軍(モップ)、飯田市結いターン移住定住推進室 湯澤英俊(スイカ)、東京都食肉生活衛生同業組合(鶏肉)、一般社団法人Combe(サーティワンアイスケーキ)、匿名(米10kg)、株式会社クrost(ランドセル)、芙蓉総合リース株式会社(防災食・文房具)、株式会社TSHホールディングス(洋服・バッグ・靴)、花王株式会社コーポレート戦略部門社会貢献部(アタックゼロ部屋干し・ハンドソープ・消毒スプレー)、匿名(やさしいジュレ)、株式会社包む(包装紙・紙袋・リボン・メッセージシール)、亀友会(焼きそば)、一般社団法人わかちあいプロジェクト(アドベントカレンダー)、日本福音ルーテル聖パウロ教会(ごども讚美歌)、湘南WCA(手作りマット)、ロクシタンジャパン株式会社(化粧品)、株式会社TBSホールディングス・株式会社TBSテレビ(マグカップ・皿・蒸し器・ノート)、一般社団法人バンクフォースマイルズ(化粧品・日用品)、日東富士製粉株式会社(クリスマスケーキ・モンブラン)、公益財団法人資生堂子ども財団(化粧品)、ピアワーク・オアシス(木の玩具)、株式会社日アレフ(おせち)、株式会社ニチレイフレッッシュ(鮭・いくら)、救世軍(ハム・お菓子)、KEATOKO-BAY(ぬいぐるみ・ペン・お絵描き用ロール紙)、株式会社アビック(猿島ツアー)、ACG GROUP 株式会社(キッズアタッチメント)、読売巨人軍坂本勇人(野球観戦・サイン入りグローブ等)、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団(プログラミング学習)、日本グランドロッシ(子ども祭り招待)

〈菊川保育園〉皆川竜篤(クレヨン)、江東橋五丁目町会(非常食)、江五クラブ(タオル)、鈴福(かぼちゃ)、亀太商店(稲)、在園児祖父母(稲)、在園児保護者(洋服)、花やみつばち(リース・ラッピング資材)、佐々木順子(リース)、地域の方(オムツ)

〈富士見保育園〉卒園児保護者(雑巾・タオル等)、藤平テレビ電化(掃除機)、東京医療商事(オムツ)、土田玲児(レゴブロック)、坂本哲也(ヘラクレスオオカブト)、うたのはるえ(絵本)

給食室だより ～富士見保育園～

富士見保育園では、11月の祝福式にあわせて、お楽しみ給食をつくりました。

お祝いなので給食職員で考え、お子様ランチをイメージしたメニューにしました。やはり、唐揚げやフライドポテトは人気で子どもたちもたくさん食べ、おかわりもしていました。

おやつは、ロールケーキで子どもだけでなく大人も大喜びでした。



〈法人本部〉日本福音ルーテル教会女性会連盟東教区女性会、大角祐介、日本福音ルーテル東京教会、日本福音ルーテル東京教会女性会、日本福音ルーテル東京教会学校、森 宣道、日本福音ルーテル田園調布教会(いずれも皆様からご寄附金を頂戴いたしました。)

地域公益活動(パントリー) 協力団体・個人

民謡子ども食堂(お菓子)、フードバンク江東(食品)、すみだ青空市ヤッチャバ(お菓子)、株式会社王将フードサービス(餃子の王将「お子様弁当」とカルピスウォーター)、すみだ清掃事務所(食品)、セカンドハーベストジャパン(食品、生鮮品)、コストコホールセールジャパン千葉ニュータウン倉庫店(食品)、モリモト・トラスト株式会社(米)、一般社団法人子ども食堂支援協議会(フリーズドライ味噌汁・野菜、丸井錦糸町店(プリン)、杉本興業株式会社(スパゲッティ・コーヒーブレイク・完熟カットトマト・フルーツミックス・キッチンスポンジ・いちごジャム・ミートソース)、NPO法人ソシオキュアアンドケアサポート(衣類・下着・コート・化粧品、サントリー株式会社(缶詰・炭酸水・キャンノーラ油)、特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン(パスタ・トマト缶・クスクス)、大橋和子(ライギョウ)、木瀬部屋(米)、オウトピア保育園(缶詰・こめ油・麦茶)、菊川駅前ライフサポートクリニック(デコラティブ石鹸・マスク)、細春子(天然水)、日東富士製粉株式会社(クリスマスケーキ・モンブラン)、芙蓉総合リース株式会社(防災食・文房具)

ボランティア

〈菊川保育園〉太田和子(裁縫)

編集後記

ベタニヤホームだより秋・冬合併号の発行です。令和5年度秋に法人創立100周年記念礼拝・記念会の開催など業務過密となったため、今号は合併号とさせていただきます。

また、創立100周年記念誌及び記念絵本「エーネ・パウラス物語」がおかげさまで完成いたしました。記念ウェブサイトをデジタル版(記念絵本除く)をご覧ください。報告は、法人本部までご一報ください。

